

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	特別支援学校給食運営事業				シート番号	038-094
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	保健給食	課 評価責任者(課長名) 寺田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	4	教育・生活環境の充実	無
	2	事業開始年度	昭和 26 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	学校給食法			
	4	関連計画	-			
5	事業実施の経緯	学校給食法に基づき実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市立支援学校児童生徒				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺市立特別支援学校に在籍する児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することにより、児童生徒の心身の健全な発達に寄与するものである。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	堺市立特別支援学校において給食を児童生徒に提供している。給食調理業務は百舌鳥支援学校(分校)を除く2校について民間委託している。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
		委託業者					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	39,068	38,757	40,129	39,622	40,486	39,958	41,880	
主な事業費内訳	学校給食調理業務	千円	33,232	33,194	34,560	34,560	34,880	34,880	35,200
	報酬・賃金等	千円	5,547	5,275	5,569	5,062	5,590	5,072	6,680
		千円							
		千円							
	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
財源内訳	市債	千円							
	その他()	千円							
一般財源	千円	39,068	38,757	40,129	39,622	40,486	39,958	41,880	
12 人件費 (b)	千円	820	820	820	820	810	810	820	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	39,888	39,577	40,949	40,442	41,296	40,768	42,700	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	特別支援学校給食運営事業	シート番号	038-094
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

		令和元年度実績					
活動実績と成果	14	「学校給食衛生管理基準」に基づき、献立作成や物資の調達、調理業務に至るまでにすべての段階において安全衛生管理を徹底した安全・安心な学校給食を提供し、堺市立特別支援学校に在籍する児童生徒の心身の健全な発達に寄与した。また、個々の児童・生徒の状況に合わせて、刻み等を行い、給食を提供した。					
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		児童生徒数に対し、それぞれの状況に応じた給食の提供ができていない割合	目標値	—	—	100	100
			実績値			100	
			達成率			100%	
			評価			良い	
	算出方法・設定根拠など		支援学校では全児童生徒に対し状況に応じた給食の提供を行うことを目標とする。				
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		安全安心な学校給食の実施を行った学校数	目標値	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	
達成率			100%	100%	100%		
評価			良い	良い	良い		
算出方法・設定根拠など		安全安心な学校給食の提供を行うことを目標とする					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	児童生徒数に対し、それぞれの状況に応じた給食の提供ができていない児童生徒数	人	—	—	333
	②	上記①にかかる年間経費	千円			40,768
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位			122,426
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	安全安心な学校給食の実施を行った学校数	校	3	3	3
	②	上記①にかかる年間経費	千円	39,577	40,442	40,768
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	13,192,333	13,480,667	13,589,333
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)
19	市立特別支援学校において、「学校給食衛生管理基準」に基づき、献立作成や物資の調達、調理業務に至るまでにすべての段階において安全衛生管理を徹底して給食を実施した。また、施設設備の老朽化が課題となっているため、費用面の課題はあるが、計画的に改修・買い替えを実施していく必要がある。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	特別支援学校給食運営事業	シート番号	038-094
-------	--------------	-------	---------

<< V. 点検 >>

<点検の前提>

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 学校給食は、市立小学校に通う児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、教育の一環として実施しているため、事業の廃止は難しい。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市立小学校で給食が実施できなくなり、お弁当対応が必要となり大きな保護者負担となり、影響が大きい。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 安心安全な給食実施のためには、事業規模の縮小及びコスト縮減は難しい。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 「学校給食衛生管理基準」に基づき、従来から調理担当者はマスクの着用および手洗い・消毒を徹底しており、感染症対策を講じながら給食を実施している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 今後の社会情勢の変化に随時対応するため、調理委託業者との連絡体制・情報共有をしっかりと行い、調理担当者全員が同じ認識をもって業務に取り組める体制づくりを行う。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 今後も、安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食法第9条「学校給食衛生管理基準」に基づき、より一層の衛生管理の徹底を図る。		